

授業科目名		担当講師名	対象学年
母性看護学実習		一瀬 いつ子	2年～3年次
授業形態	単位(時間)	実習場所	
実習	2(90)	県立大島病院 産婦人科病棟・産婦人科外来	
実務経験	本科目は、助産師として実務経験のある教員が担当している。		
学修内容	周産期における母子の特性を理解し、母性および新生児の看護に必要な基礎的知識、技術、態度を習得する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠・分娩・産褥および新生児の特徴と正常な経過が理解できる。 2. 産褥および新生児の援助を体験し母性看護技術の特殊性が理解できる。 3. 受け持ち褥婦・新生児への健康課題を理解し、褥婦・新生児への援助・指導のあり方を学ぶ。 4. 母性看護を通して自己の母性観(父性観)を深めることができる。 		
事前学習	妊娠期の看護、分娩期の看護、産褥期の看護、新生児の看護		

授業計画

No.	授 業 内 容
1日目～15日目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前学習を提出する。 2. 実習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> 1) 1～2週目は正常な経過をたどる分娩・産褥期の対象および新生児を受け持つ。 *男子学生は女子学生とペアを組み褥婦と新生児を受け持つ。 褥婦のケアや観察で実施できない場合もあるので、女子学生と情報を共有する。 2) 3週目は、機能別実習として外来(半日)実習や妊娠期の技術を見学および体験する。 3) 外来実習は1日1名、半日実習とする。 4) 分娩見学 <ul style="list-style-type: none"> ・産婦の許可をもらい1人1例実施する(女子のみ) ・男子学生は、産婦の許可をもらい帝王切開を見学する。
履修上の要件	母性看護学実習を履修するには、母性看護学Ⅰ～Ⅱを修得していること
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学(2)母性看護学各論 医学書院 母性看護学Ⅱ周産期各論(医歯薬出版) 病気がみえる vol10 第3版
成績評価の方法	母性看護学実習評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の総合評価
備考	